

JOYO BANK NEWS LETTER

2024年8月30日

筑波大学との「財務分析におけるAIによる異常点検知」に関する 共同研究の実施について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、国立大学法人筑波大学（学長 永田 恭介）（以下「同大学」）と連携し、「AI（人工知能）による財務分析における異常点検知」に関する共同研究を実施しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本共同研究では、同大学のAIを活用したデータ分析能力を生かし、当行が保有する財務データをAIで学習・分析することで財務分析における会計上の異常点を検知するAI開発に関する研究を行い、融資審査における財務情報分析の高度化を目指します。

当行は、今後とも、地域とのパートナーシップを生かした産学の連携を通じ、地域の課題解決に向けた取り組みを進め、地域経済の成長と活性化に貢献してまいります。

記

1. 共同研究の合意日

2024年7月17日

2. 共同研究の内容

「上場企業を対象とする不正会計検知モデル（特許出願中）」の開発を手掛けた同大学ビジネスサイエンス系の尾崎幸謙教授、中村亮介准教授等と、以下の研究を実施します。

研究テーマ	財務分析におけるAIによる異常点検知
研究目的	財務分析における会計上の異常点検知を行うためのAI開発および、異常点理由の調査方法の開発
期間	2024年8月6日から1年間
内容	<ul style="list-style-type: none">上場企業を対象とする会計上の異常点を検知するモデルに、当行が保有する財務データなどをAIに学習させ、上場企業以外にも同等の水準の精度が確保できるAI分析モデルの開発にむけて研究を行います。当行は、本共同研究により財務情報分析を高度化し、効率的な審査や、審査時間短縮の実現を目指します。同大学は、銀行が保有する多くの財務データや知見を活用し、既存の上場企業以外にも異常点の検知が可能となるAI分析モデルにチューニングを行います。

以上



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

常陽銀行

〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5

Tel. 029-231-2151(代表) www.joyobank.co.jp